

教育委員会会議録（2月定例会）

日 時

平成29年2月22日（水）
午後1時30分から午後2時20分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	森嶋 鎮一郎
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	中村 雅利

委員以外の出席者

教育部長	鈴木 透
総務課長	清水 透
学校施設課長	関根 博之
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	内山 信弘
学務課課長	木下 俊雄
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	志藤 忠博
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	川崎 恭子
指導課課長	佐川 章子
郷土博物館課長	助川 正則
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
総務課副参事（兼）庶務係長	中村 大介
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課係長（企画員）	下村 彰彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

報 告

報告第2号 教育委員会1月定例会の会議録について

議 案

議案第1号 平成29年度教育委員会予算の提案について

議案第2号 平成28年度教育委員会3月補正予算の提案について

議案第3号 日立市立学校設置条例の一部を改正することについて

その他

- (1) 平成29年度小規模特認校への就学予定について
- (2) 平成28年度教育長表彰等について
- (3) 教育委員会関連行事等について
 - ア 平成28年度小・中・特別支援学校卒業式について
 - イ 池の川さくらアリーナ「わくわく体験ウィーク」の結果について
 - ウ 日立KIZUNAリレーマラソン（中学生駅伝の部）の結果について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後1時30分

教 育 長

それでは、只今から2月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が4人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 2 号

教育委員会1月定例会の会議録について

教 育 長

それでは、まず、報告第2号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 案

議 案 第 1 号

平成29年度教育委員会予算の提案について

教 育 長

それでは次に、議事に移ります。
議案第1号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長

平成29年度の教育委員会予算について、提案するものです。
歳出の合計額は、57億9,178万2千円です。
平成28年度予算の合計額が74億6,946万9千円でしたので、比較すると、平成29年度は、16億7,768万7千円の減額となるものです。

なお、次の補正予算の議案で説明しますが、国の補正予算に伴う
国庫支出金の関係で、昨年12月、そして本年3月に、合わせて約

21億円の増額補正を行い、その全額を平成29年度に繰り越す予定としていますことから、この繰越額を平成29年度の予算額に加えますと、実質的には、平成28年度と比較して、約4億円の増額となるものです。

次に、予算の概要です。

主なものとしては、まず、「子どもたちに対する教職員等の確保」として、本市の特徴的な取組であります「35人を超える学級への教員配置」、「理科支援講師の配置」、「学校図書事務員の配置」など、平成28年度と同様の体制を確保するための予算を計上しました。

「安全・安心な学習環境の充実」については、学校の校舎等の改修や施設整備を計画的に進めるものですが、豊浦小学校校舎改築事業における基本・実施設計、校舎解体工事、そして宮田小、滑川小、塙山小、多賀中、泉丘中のトイレ改修工事については、先ほど説明しました、国の補正予算に伴い今年度の補正予算で確保した予算を、平成29年度に繰り越して実施するものです。

次に、前年度と比較した予算額の増減における主な要因です。

「学校給食共同調理場建築事業費」1億2,217万5千円の増、「運動公園施設整備事業費」4億5,450万8千円の増などが増額の要因であり、「諏訪小学校校舎改築事業費」10億1,960万1千円の減などが、減額の要因となっています。

続いて、平成29年度の主な事業です。

新しい事業などについて、説明をさせていただきます。

学校施設課の「情報教育環境整備事業費」は、新たに小学校、中学校、特別支援学校に「校務支援システム」を導入するとともに、中学校におけるパソコン教室のノート型パソコン129台を、タブレット型に更新するものです。なお、財源の一部として、ふるさと寄附金7,762万5千円を充てる予定としています。

教育委員会総務課の「学校教育振興プラン改訂事業費」は、現在の振興プランの計画期間が平成30年度で終了することから、新たなプランを策定するため、アンケート調査を行うものです。

同じく総務課の「奨学金制度拡充事業」は、市奨学金の返還金の一部を補助することにより、若者の市内定住を促進しようとするもので、平成29年度以降の返還者が市内に定住した場合には、毎年総返還額の5%、10年間で総返還額の50%の額を上限に、補助金として交付するものです。

学校施設課の「日高小学校校舎改築事業費」は、老朽化し、耐震化が必要となっている校舎を改築するに当たり、設計プロポーザル、耐力度調査、測量調査を行うものです。

生涯学習課においては、新たに実施する事業が3つあります。

まず、「ひたちっ子わくわくサタデー事業」は、土曜日における小学生の居場所づくりとして、週1回、外国人と英語で触れ合う機

会を提供し、英語や異文化に対する興味、関心を高めようとするものです。

「放課後子ども教室推進事業費」は、田尻小学校をモデル校として、週1回、放課後の時間に、在校生であれば誰もが、多様な体験や交流活動に参加できる取組を行うものです。

「ラジオ体操普及事業費」は、日立市出身者が考案したラジオ体操を市民に周知し、一層の普及を図るため、指導員の養成や派遣などを行うとともに、夏季巡回ラジオ体操を実施するものです。

スポーツ振興課の「折笠スポーツ広場人工芝生化記念事業」は、今年度末に、折笠スポーツ広場自由広場の人工芝生化が完了することから、記念事業として、4月1日に式典やサッカー教室などを行うものです。

「学校給食共同調理場建設事業費」は、宮田調理場と十王調理場を統合した新たな調理場を、北部工業団地内に建設するため、用地取得と実施設計を行うものです。

スポーツ振興課の「運動公園施設整備事業」は、茨城国体に向け、駐車場用地の取得をはじめ、老朽化が進む野球場のスコアボード改修に係る設計、陸上競技場の外壁改修を行い、併せて備品整備などを行うものです。

なお、いくつかの事業において、「ふるさと寄附金」を充てることとしておりますが、教育委員会の事業においては、総額で約1億6千万円充てられる予定となっております。

委員 タブレット型パソコンを新たに129台、少人数指導教員を引き続き5人、それぞれ配置するということですが、どのように配置する予定ですか。

学校施設課長 タブレット型パソコンについては、平成28年度から31年度までの4年間で、パソコン教室で使用しているノート型パソコンの更新時期に合わせ、随時、配置していく予定としています。

来年度は、駒王中学校、泉丘中学校、坂本中学校、中里中学校の4校が更新の対象となっております。

なお、パソコン教室には、現在、小学校881台、中学校566台、特別支援学校8台、合計1,455台のパソコンが配置されています。来年度は、そのうち中学校129台を、タブレット型パソコンに更新するものです。

学務課長 少人数指導教員についてお答えします。

本市では、特別支援学級の児童生徒を含め35人を超える学級に対して、少人数指導教員を配置しています。

県からも少人数指導教員が配置されますが、その対象は、特別支

援学級の児童生徒を除いた1学級の人数が35人以上である学級となっています。

本市では、それに加え独自に指導教員を配置しており、学校からは、担任1人で40人近くの児童生徒を指導するよりも、よりきめ細やかな指導ができるという話を聞いています。

配置することによる効果や課題については、現在、各学校に対してアンケート調査を行っていますので、その結果を踏まえ、検証していきます。

委員 少人数指導教員を配置する学校は、すでに決まっているのですか。

学務課長 現在、来年度の在籍児童数に変動している状況ですので、人数が確定した段階で、配置校を決定します。

委員 子どもたち一人一人に対するきめ細やかな指導のためにも、少人数指導教員を含め、教職員の確保等が充実していることは、とても大切なことです。

来年度は、今年度と同様の職員数を確保できるということですので、評価に値するのではないかと思います。

先日、新学習指導要領の案が示されましたが、その中で、英語学習の充実、拡充が求められています。

それに関連してお伺いしますが、本市のALTの確保状況については、どのようになっているのでしょうか。

指導課長 現在、市が雇用しているALTが4人、業務委託によるALTが17人います。

それぞれ、小、中、特別支援学校に配置するとともに、幼稚園から要請があった場合には、その幼稚園にも行っています。

本市では、すでに小学5年生からALTによる外国語活動の授業を行っていますが、小学1年生から4年生までの学級でも、ALTを活用した活動を行い、英語に触れる機会を設けています。

新学習指導要領において、小学3年生から週1コマの外国語活動を行うことが求められていますが、必要なALTの人数については、準備期間である平成29年度に英語のカリキュラム作りを行っていく中で、ALTの活用方法も含め、検討していきます。

委員 来年度は、今年度と同様の人数を確保し、今後はその人数の増加も含め検討していくということですね。

是非、検討をお願いします。

また、来年度、生涯学習課が実施する、子どもに対する放課後や

土曜日を活用した事業についても評価したいと思います。

現在、放課後に子どもを預かっている児童クラブでは、対象者を所得などで限定していますが、来年度から実施する「放課後子ども教室」は、そういった制限を設けないということです。是非、今後拡充してほしいと思います。

生涯学習課長 特に「放課後子ども教室」については、来年度から取り組み方を変え、小学校各校に広めていくための検証を行っていきたいと考えています。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案第2号 平成28年度教育委員会3月補正予算の提案について

教育長 次に、議案第2号について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 平成28年度教育委員会3月補正予算について、提案するものです。

歳入については、合計9億3,392万4千円を増額し、補正後の額を35億790万8千円とするものです。

歳出については、合計9億7,620万円を増額し、補正後の額を93億8,345万1千円とするものです。

補正予算の主な理由としては、議案第1号で説明をしましたが、国の補正予算に伴い国庫支出金が増額となったことから、関係予算を前倒しで計上するための増額補正をし、併せて、平成29年度に送るための手続きを行うものです。

また、県の補助金の額が確定したことにより、増額補正を行うとともに、委託契約などで差金が生じた事業について、減額補正などを行うものです。

主な事業についてです。

「教育振興経費」50万円の増額は、綿引 昭三郎 氏からのご寄附を、「未来をひらく子ども教育基金」に積み立てるものです。

「諏訪小学校校舎改築事業費」2,800万円の増額は、国の補正予算に伴い、諏訪小学校の外構工事に係る経費を前倒しで計上したものであり、関連歳入として、国庫支出金と市債についても増額補正するものです。

「久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業費」1,519万5千円の減額は、仮設校舎整備における附帯工事の契約差金を減額するものですが、関連歳入の国庫支出金や市債については、国から交付される補助金の単価が増額となったことに伴い、増額補正を行うもの

です。

「豊浦小学校校舎改築事業費」2億6,038万5千円の増額は、国の補正予算に伴うものであり、併せて関連歳入も増額するものです。

「学校給食共同調理場建設事業費」7億2,770万円の増額についても、関連歳入を含め、国の補正予算に伴うものです。

「社会体育施設整備事業費」7,092万9千円の減額については、施設長寿命化計画策定業務委託について契約差金が生じ、また、「運動公園施設整備事業」については、国の補助が採択されなかったことから、予定していた関連歳入と併せて減額するものです。

「武道館施設整備事業費」5,450万円の増額については、国の交付金を活用して、武道館の2階部分の改修などを行うものです。

最後に、歳入559万4千円の増額については、鹿島アントラーズから復興支援金として寄せられたものであり、すでに事業を実施している「折笠スポーツ広場自由広場人工芝生新設工事」に充てるものです。

次に、継続費、繰越明許費、地方債補正の追加等についてです。いずれも国の補正予算に伴う対応となります。

継続費補正の追加は、「学校給食共同調理場建設事業」について、今回の補正額である7億2,770万円を含め、3か年の継続費を設定するものですが、平成28年度分については、平成29年度に執行するものです。

繰越明許費の追加は、「豊浦小学校校舎改築事業」及び「武道館施設整備事業」について、今回増額補正する全額を平成29年度に繰り越すため、繰越明許費を設定するものです。

繰越明許費の変更は、「諏訪小学校校舎改築事業費」です。

国の補正予算に伴い、昨年12月の補正予算において繰越明許費を設定しましたが、今回の補正額を加え、繰越額を1億800万1千円に変更するものです。

地方債補正の追加は、「豊浦小学校校舎改築事業費」及び「学校給食共同調理場建設事業費」について、国の補正予算に伴い、前倒しで予算化することから、併せて財源として地方債を新たに設定するものです。

最後に、地方債補正の変更ですが、「諏訪小学校校舎改築事業費」については、国の補正予算に伴い、そして「久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業費」については、国の補助単価の増額に伴い、地方債の限度額をそれぞれ増額するものです。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案第3号 日立市立学校設置条例の一部を改正することについて

教育長 次に、議案第3号について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 少子化等に伴う園児数の減少に伴い、日立市立河原子幼稚園及び日立市立根道丘幼稚園を廃止するため、本条例の一部を改めるものです。

条例のうち、幼稚園の名称及び位置を規定する別表の中から、河原子幼稚園及び根道丘幼稚園に関する事項を削除します。

なお、改正後の条例は、平成29年4月1日から施行します。

(本件については原案どおり可決されました。)

4 その他

(1) 平成29年度小規模特認校への就学予定について

教育長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 平成29年度小規模特認校への就学予定について、説明します。
まず、小規模特認校制度の概要についてです。

本制度は、平成25年度から中里小・中学校を「小規模特認校」とし、小規模校の特色を生かした教育環境の中で学ばせたい、学びたいという保護者及び児童生徒に対し、一定の条件の下、学区内外を問わず、市内全域からの就学を認めているものです。

次に、平成29年度の小規模特認校制度利用による就学予定者です。

小学校は、男子6人、女子6人の計12人、中学校は、男子2人、女子8人の計10人です。

これらの制度利用者を加えた平成29年度における中里小学校、中学校の児童生徒数は、小学校が25人、中学校が17人となる見込みです。

今後の募集についてですが、両校とも、在校生と合わせて1学年につき10人程度を目標に、平成29年度も引き続き募集を継続します。

なお、制度利用者は遠距離通学となるため、平成29年度も引き続き、日立駅から中里小・中学校間のスクールバスを運行します。

委員 制度を利用して就学するための一定の条件とは、こういったものですか。

学務課長 4点あります。
1点目は、小規模特認校の教育目標、教育方針及び教育活動について理解し、協力できることです。
2点目は、小規模特認校のPTA活動に賛同し、協力できることです。
3点目は、自らの責任と負担において、児童生徒を通学させることです。
4点目は、原則として、児童生徒を1年以上通年通学させることです。

委員 現在不登校となっているお子さんで、住所は他の市町村にあるのですが、中里小学校の取組に興味を持っており、通学を希望しているという話を聞きました。
制度を利用できるのは市内の児童生徒に限られていますが、いずれはそういった市外の子どもたちも利用できるように検討していただければと思います。

学務課長 住所地とは異なる市町村の学校に就学することを、区域外就学といいます。
区域外就学の希望があった場合には、受け入れる側の市町村と住所地がある市町村の教育委員会が協議し、その子どもにとって何が一番必要であるかなどを勘案し、決定します。
決して、市外だから受け入れないというものではなく、その子どもの実情などに応じて受け入れることは可能です。

(2) 平成28年度教育長表彰等について

教育長 それでは次に、その他(2)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 平成28年度教育長表彰等について、説明します。
教育長表彰は、2月26日に開催される「青少年健全育成のための市民の集い」において行います。
学習、文化、スポーツなどの分野で、県大会1位や全国大会への出場、又はそれらに準ずるような活躍をされた子どもたちに対し、本市の学校教育に貢献したことについて、賞賛の意味を込め、表彰するものです。

部門は4部門あります。

学習・文化部門では、各種コンクール等で優秀な成績を収めた個人20人と3団体を表彰します。

スポーツ部門では、部活動以外のもも含め、県大会優勝以上の成績を収めた個人47人と4団体を表彰します。

奉仕活動部門では、子ども会連合会のリーダーとして活躍した小学生と、その児童を指導した中学生、合わせて7人を表彰します。

その他の部門としては、久慈川菜の花エコネットワークを通して環境保全活動に取り組んだ東小沢小学校、「いばらきっ子郷土検定」の県大会に4年連続で出場した坂本中学校、「科学の甲子園ジュニア」において2年連続で県教育長賞を受賞した久慈中学校、地域の環境美化活動に取り組んだ滑川中学校を、それぞれ表彰します。

教育長表彰については以上ですが、合わせて、全国規模の創作絵画コンクールである第15回ドコモ未来ミュージアムにおいて、滑川小学校が学校賞を受賞したことを報告します。

(3) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

ア 平成28年度小・中・特別支援学校卒業式について

学 務 課 課 長 平成28年度小・中・特別支援学校卒業式について、説明します。

小学校は、3月23日（木）、中学校は、3月10日（金）、日立特別支援学校中学部・高等部は、3月9日（木）に実施します。

年度末のお忙しい中とは存じますが、委員の皆様には、来賓としての出席をお願いします。

イ 池の川さくらアリーナ「わくわく体験ウィーク」の結果について

スポーツ振興課長 池の川さくらアリーナ「わくわく体験ウィーク」の結果について、報告します。

まず、実施概要についてです。

本年1月21日にオープンした池の川さくらアリーナを、多くの市民の方に見学していただいたり、新しい体育館でスポーツを体験していただくために、1月25日から31日までの1週間、施設を無料開放する「わくわく体験ウィーク」を実施しました。

卓球、バドミントン、バスケットボールなどの各種スポーツを、施設のエリアごとに分け、実際に体験していただきました。

体験者の人数については、7日間で合計3,671人、1日平均

524人の利用があり、スポーツの振興及びアリーナの利用促進を図ることができました。

ウ 日立KIZUNAリレーマラソン（中学生駅伝の部）の結果について

スポーツ振興課長 日立KIZUNAリレーマラソン（中学生駅伝の部）の結果について、報告します。

本年は、日立市体育協会主催の池の川さくらアリーナ開館記念事業の中で、日立駅伝大会に変わる「日立KIZUNAリレーマラソン」として、男子5人と女子4人の9人でタスキをつなぐ「中学生駅伝」が、2月18日に市民運動公園陸上競技場及び周辺道路において実施されました。

駅伝には、市内16校、市外4校の合計20校から35チーム、315人が参加しました。

大会の結果については、磯原中学校が、2位の久慈中学校とわずか3秒の差で優勝しました。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総 務 課 長 平成29年3月24日（金）午後1時30分から、日立市教育プラザ ギャラリーBで開催予定です。

6 閉 会 午後2時20分

教 育 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会2月定例会を終了します。

以 上